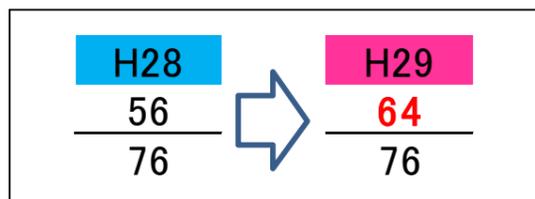


■取組方針フォローアップ【小丸川】

1. 水害に強い人づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数/延べ全項目数：



(2) 主な取組内容 H29：

①「川を通じたコミュニティーづくり」

- 漁協と連携した稚魚放流が行われている。
- イベント時に各NPO等との協働・連携が広がっている。

②「防災学習の推進」

- 企業及び教育委員会の連携が行われており、積極的に小・中学校で防災学習が行われている。
- 高鍋町では多機関と連携した防災会議を開始している。
- 地域温度差解消策として、防災ポータルサイト開設やラジオ、Facebookの活用を始めている機関もある。

③「自主防災組織の結成と積極的活動」

- 説明会・支援・訓練等が実施されている。
- 木城町では、洪水時に要支援者に避難誘導を行っている。
- 高鍋町では土砂災害避難訓練を実施。

④「防災リーダーの育成」

- 各機関において連携・フォローアップが実施されている。

⑤「ハザードマップ作成」

- 新たに高鍋町と木城町でハザードマップ作成・配布が行われている。

(3) 評価：全機関で、概ね積極的に取り組みが進められている。

＜主な取組内容＞

具体的目標：1. 水害に強い人づくりの推進	【直轄区間】				
	小丸川		2協議会		
	高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
①川を通じたコミュニティーづくりの推進		○	○	○	○
②防災学習の推進	●	●	○	●	●
③自主防災組織の結成と積極的活動	●	●	○	●	●
④防災リーダー(地域防災士、水防団等)の育成	○	●	○	○	●
⑤住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成(※)	【小丸川】H30年度				
(※)最大規模洪水を対象とする。	●	●	○	○	○

○：取組継続 ●：進捗

①について

・漁協連携(稚魚放流)＜木城町＞ ・水辺のモニター＜宮崎県＞ ・川づくり交流会、水質調査＜宮崎河川＞

②について

・防災出前講座、PTA主催防災フェスタ、高鍋町防災会議(多機関連携)、**防災士養成**、教育研究所防災マニュアル・計画に基づく防災教育、合同避難訓練＜高鍋町＞・**クリーン作戦を町民・企業・行政で連携実施**、小学校防災学習＜木城町＞土砂災害防災教室、＜宮崎県＞ ・宮崎県教育庁と連携した防災学習、**ラジオ放送＜宮崎気象＞** ・防災ラジオ放送、**防災ポータルサイト開設、Facebookによる訓練等の情報発信、防災教育教材導入を検討中。**＜宮崎河川＞

③について

・自主防災組織育成、補助金案内、**土砂災害避難訓練、女性消防団員制度を新設**、消防団装備等の充実、**備蓄食品購入＜高鍋町＞** ・自主防災組織説明会、各自主防災組織の防災訓練、**要支援者避難誘導、防災士資格取得補助金要綱新設、備蓄食料更新＜木城町＞** ・企業防災訓練や研修会への防災士派遣、新規結成自主防災組織補助事業＜宮崎県＞ ・**防災学習・広報＜宮崎気象＞** 啓発・川の防災情報チラシ配布、防災訓練、Facebookによる訓練等の情報発信＜宮崎河川＞

④について

・防災士取得助成、防災士ネットワークとの連携(講演会・訓練)＜対象市町全機関＞ ・防災士研修講師派遣＜宮崎県・宮崎気象・宮崎河川＞ ・樋門操作説明会、水閘門点検、合同巡視、**防災士養成講座講演＜宮崎河川＞**

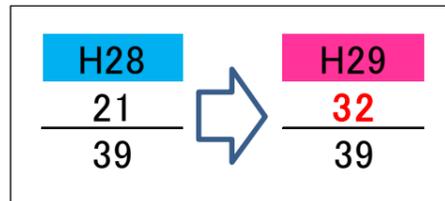
⑤について

・**想定最大洪水ハザードマップ作成＜高鍋町、木城町＞** ・出前講座等地域防災学習うでハザードマップ活用＜高鍋町＞ ・ハザードマップを活用して避難訓練＜木城町＞

2. 情報伝達のための環境づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数



(2) 主な取組内容 H29

① 「要配慮者を考慮した避難・誘導」

- 要配慮者名簿の作成・更新作業、説明会が実施
- 高鍋町では、高鍋町避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）を策定したほか、福祉課、社会福祉協議会等と連携し、地域の要支援者の把握、避難・誘導體制の確立のためのマップ作りの取組が始まっている。
- 木城町では、福祉保健課・包括支援センターが、個別に要支援者に連絡を取って避難誘導している。

② 「避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用」

- 各機関において体制整備に「タイムライン」が活用されており、タイムラインを活用した図上訓練の実施・検証を実施。

③ 「迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化」

- 高鍋町では防災無線戸別受信機の無償貸与やSOSネットワーク加入促進を進めている。
- 木城町では、無線告知システム（全戸設置）を活用して情報伝言している。
- 出水期前の防災広報誌での特集記事や防災だよりの発行など取組拡大が行われている。
- 国土交通省では、小丸川の洪水情報のプッシュ型配信をH30.5より配信開始している。

④ 「学習会による災害情報の共有」

- 想定最大ハザードマップの作成し、全戸配布が進んでいる。

(3) 評価：全機関で、概ね積極的に取り組みが進められている。

<主な取組内容>

具体的目標: 2. 情報伝達のための環境づくりの推進	目標時期	【直轄区間】				
		小丸川		2協議会		
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
①要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進	継続	●	●	○	○	○
②避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用	H29年度	●	●	○		○
③迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化	継続	●	○	○	○	●
④学習会等による災害情報の共有(※)	【小丸川】H30年度	●	●	/	/	○

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

- ・自主防災組織を含む防災訓練を実施、福祉避難所指定<高鍋町・木城町>
- ・避難行動支援者要支援者避難支援プラン(全体計画)、名簿更新、福祉課、社会福祉協議会連携マップ作り<高鍋町>
- ・避難行動要支援者名簿作成、一部の福祉施設において避難訓練を実施<木城町>・要配慮者利用施設管理者防災説明会<宮崎県><宮崎気象><宮崎河川>

②について

- ・体制整備へのタイムラインの活用<高鍋町・木城町>
- ・タイムラインを活用状況の共有<宮崎河川>

③について

- ・防災行政無線戸別受信機の無償貸与、SOSネットワーク加入促進、広報誌での特集<高鍋町>・無線告知システム(全戸設置)を活用<木城町>・イベント時「チラシ」配布<宮崎県・宮崎気象・宮崎河川>・洪水情報のプッシュ型配信<宮崎河川>

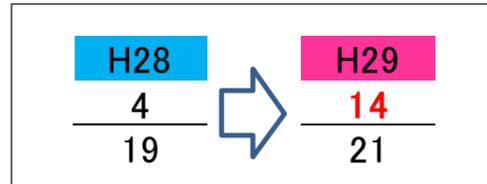
④について

- ・想定最大洪水ハザードマップ作成<高鍋町・木城町>・浸水情報看板「まるごとまちごとハザードマップ」更新<宮崎河川>

3. 水害に強いまちづくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数



(2) 主な取組内容 H29

① 「都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導」

→土砂災害警戒区域の指定を行った。

② 「安全な避難路・復旧路の整備」

→高鍋町では町道等109路線を避難路として指定し、点検・整備を進めている。

→木城町で最大浸水想定区域での避難路点検を実施済み。

→宮崎県では主要路線を緊急輸送道路指定

→宮崎河川では、広域的な河川氾濫を想定した排水計画が検討している。

③ 「安全な避難場所確保」

→高鍋町では、指定避難所、津波避難ビル点検し継続指定を確認済み。なお新避難場所検討や広域避難を検討中である。

→木城町では、民間福祉施設を避難所として指定した事や、各避難所の点検を実施している。

④ 「高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進」

→例えば、宮崎市では要配慮者施設を地域防災計画で定め、対象施設に支援を実施している。

⑤ 「排水ポンプ車による排水計画の策定」

→宮崎河川において広域的な河川氾濫を想定した排水計画を検討中。

(3) 評価：一部機関で、最大浸水想定区域を元にした検討が始まっている。

今後各機関における課題等を共有し、さらなる取組の向上を必要とする。

<主な取組内容>

具体的目標：3. 水害に強いまちづくりの推進	目標時期	【直轄区間】				
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
① 都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導(※)	H29年度以降		●	○	○	○
② 安全な避難路・復旧路の整備(※)	H29年度以降	●	●	○	○	●
③ 安全な避難場所の確保(※)	【小丸川】H30年度	●	●	○	○	○
④ 高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進	継続			○	○	○
⑤ 排水ポンプ車による排水計画の策定(※)	H30年度					●

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・土砂災害警戒区域の指定を行った<木城町>

②について

・町道等109路線を避難路として指定し、点検・整備を進めている。<高鍋町> ・最大浸水想定区域での避難路点検を実施済み<木城町> ・主要路線を緊急輸送道路指定<宮崎県> ・広域的な河川氾濫を想定した排水計画検討中<宮崎河川>

③について

・指定避難所、津波避難ビル点検し継続指定確認、新避難場所検討、広域避難検討中<高鍋町> ・民間福祉施設を避難所として指定、各避難所点検<木城町>

④について

・要配慮者利用施設管理者防災説明会<宮崎県・宮崎気象台・宮崎河川>

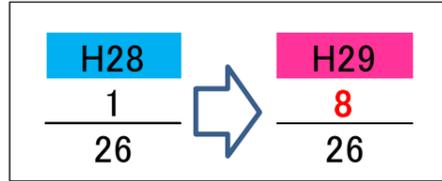
⑤について

・広域的な河川氾濫を想定した排水計画を検討中<宮崎河川>

4. 水害に強い防災拠点づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数/延べ全項目数



(2) 主な取組内容 H29

① 「浸水時にも活用出来る水防倉庫、アクセス路整備」

→木城町では最大浸水想定区域を基に水防倉庫の位置を確認し、浸水想定区域に入っていないため、現状のまま活用している。

② 「浸水時における公共施設、ライフライン等の機能維持対策」

→今後各機関において、最大浸水想定区域を基にした取組が進められる予定。
→木城町では、改訂したハザードマップをライフラインの企業に配布している。

③ 「防災ステーション等防災拠点の整備」

→高鍋町では、平成28年度から津波避難タワー建設に着手し、平成29年度に1カ所完成している。また、平成30年度から避難誘導看板の設置を検討している。
→木城町では、防災拠点の耐震補強工事を実施している。

(3) 評価：一部市町で防災拠点の新規整備が進められている。

今後各機関における課題等を共有し、さらなる取組の向上を必要とする。

<主な取組内容>

具体的目標: 4. 水害に強い防災拠点づくりの推進	目標時期	【直轄区間】				
		小丸川		2協議会		
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
①浸水時にも活用できる水防倉庫、アクセス路の整備(※)	【小丸】H30年度		●		○	●
②浸水時における公共施設、ライフライン等の機能維持対策(※)	H32年度		●		○	○
③防災ステーション等防災拠点の整備(※)	H32年度	●	●		○	

※最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・水防倉庫は、浸水想定区域に入っていないため、現状のまま活用する。<木城町>

②について

・改訂したハザードマップをライフラインの企業に配布<木城町>

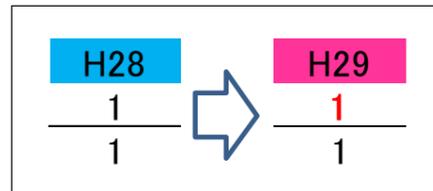
③について

・津波避難タワー建設着手、避難誘導看板設置検討<高鍋町> ・防災拠点の耐震補強工事を実施<木城町>

5. 被害を最小にするハード整備

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数／延べ全項目数



(2) 主な取組内容 H29

① 「洪水を安全に流すためのハード対策」

→平成25年8月に策定された河川整備計画及び平成27年9月関東・東北豪雨災害を契機に着手した「流下能力対策」について、河道掘削工事を実施中。

(3) 評価：引き続き、ハード整備を推進し、取組の向上を必要とする。

<主な取組内容>

		【直轄区間】				
		小丸川		2協議会		
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
具体的目標:5. 被害を最小にするハード整備						
目標時期						
①洪水を安全に流すためのハード対策	継続					●

○:取組継続 ●:進捗

①について

・河道掘削を実施中